



上筋鉄門内調練場の推定地付近

①②玉造講武所の推定範囲とバル法円坂付近

撮影協力/大阪歴史博物館・KKRホテル大阪



(3) 幕末・維新150年 上町台地 ゆかりの地を訪ねる

幕末、大坂城のすぐ南に「玉造講武所」と呼ばれる兵士の調練施設がありました。存在した期間が短いためか注目度は低く、場所を示す手がかりも断片的にしかありません。です。

石碑などもありません。ですがこの玉造講武所は、幕末の大坂城にとって重要な意味を持つようになりました。

講武所は江戸で誕生しました。ペリーの浦賀来航を機に

武士の資質向上が叫ばれるよ

うになりました。これを背景に安政

3(1856)年、旗本・御

家の鍛錬施設として発足し

ました。はじめは伝統的な武

芸も重視され組織も未熟でし

たが、次第に歩兵や砲兵を中

核とした実戦部隊の調練機関

としての色彩を強め、幕府の

軍制改革の一翼を担うように

なります。

江戸の動きに合わせ、大坂

城でも在番する武士のための

鍛錬施設が作られました。場

所は筋鉄門（すじがねもん）

の内側一帯と玉造口の南側で

した。文久3(1863)年5月7日、この時初めて大

坂城を訪れた將軍徳川家茂（いえもち）は、筋鉄門内側の調練場に赴き、銃隊の調練を上覧しました。同じ月に大坂で最初の講武所が同所に設置されますが、この付近は手狭だったので玉造口南側の空き地も整備されます。

慶応元(1865)年閏5月、幕府の権威回復を目指す

家茂は、第2次長州戦争を指揮するため大坂城に入りました。

これに合わせて江戸の講

武所の幹部や所属する歩兵隊

も大坂に乗り込みます。彼ら

の拠点となつたのが玉造口南

側の調練場で、これによつて

玉造講武所が成立したと考えられます。場所はKKRホテ

ル大阪周辺から南、中央大通

を越えて大阪市教育会館(パ

ル法円坂)周辺に至る一帯と

推定されます。

以後家茂は翌年にかけ、計

16度も玉造講武所に出向き調

練を視察しています。陣羽織

を着用し、居住していた本丸

御殿から大手門を通り、徒歩

で往復しました。視察の折に

は付近の往来が禁止され、町

造講武所」と呼ばれる兵士の調練施設がありました。存在した期間が短いためか注目度は低く、場所を示す手がかりも断片的にしかありません。です。

がこの玉造講武所は、幕末の大坂城にとって重要な意味を持つようになりました。

講武所は江戸で誕生しました。

武士の資質向上が叫ばれるよ

うになりました。これを背景に安政

3(1856)年、旗本・御

家の鍛錬施設として発足し

ました。はじめは伝統的な武

芸も重視され組織も未熟でし

たが、次第に歩兵や砲兵を中

核とした実戦部隊の調練機関

としての色彩を強め、幕府の

軍制改革の一翼を担うように

なります。

江戸の動きに合わせ、大坂

城でも在番する武士のための

鍛錬施設が作られました。場

所は筋鉄門（すじがねもん）

の内側一帯と玉造口の南側で

した。文久3(1863)年5月7日、この時初めて大

坂城を訪れた將軍徳川家茂（いえもち）は、筋鉄門内側

の調練場に赴き、銃隊の調練

を上覧しました。同じ月に大

坂で最初の講武所が同所に設

置されますが、この付近は手

狭だったので玉造口南側の空

き地も整備されます。

慶応元(1865)年閏5月、幕府の権威回復を目指す

家茂は、第2次長州戦争を指揮するため大坂城に入りました。

これに合わせて江戸の講

武所の幹部や所属する歩兵隊

も大坂に乗り込みます。彼ら

の拠点となつたのが玉造口南

側の調練場で、これによつて

玉造講武所が成立したと考えられます。場所はKKRホテ

ル大阪周辺から南、中央大通

を越えて大阪市教育会館(パ

ル法円坂)周辺に至る一帯と

推定されます。

以後家茂は翌年にかけ、計

16度も玉造講武所に出向き調

練を視察しています。陣羽織

を着用し、居住していた本丸

御殿から大手門を通り、徒歩

で往復しました。視察の折に

は付近の往来が禁止され、町

の動きに合わせ、大坂

城でも在番する武士のための

鍛錬施設が作られました。場

所は筋鉄門（すじがねもん）

の内側一帯と玉造口の南側で

した。文久3(1863)年5月7日、この時初めて大

坂城を訪れた將軍徳川家茂（いえもち）は、筋鉄門内側

の調練場に赴き、銃隊の調練

を上覧しました。同じ月に大

坂で最初の講武所が同所に設

置されますが、この付近は手

狭だったので玉造口南側の空

き地も整備されます。

慶応元(1865)年閏5月、幕府の権威回復を目指す

家茂は、第2次長州戦争を指揮するため大坂城に入りました。

これに合わせて江戸の講

武所の幹部や所属する歩兵隊

も大坂に乗り込みます。彼ら

の拠点となつたのが玉造口南

側の調練場で、これによつて

玉造講武所が成立したと考えられます。場所はKKRホテ

ル大阪周辺から南、中央大通

を越えて大阪市教育会館(パ

ル法円坂)周辺に至る一帯と

推定されます。

以後家茂は翌年にかけ、計

16度も玉造講武所に出向き調

練を視察しています。陣羽織

を着用し、居住していた本丸

御殿から大手門を通り、徒歩

で往復しました。視察の折に

は付近の往来が禁止され、町

の動きに合わせ、大坂

城でも在番する武士のための

鍛錬施設が作られました。場

所は筋鉄門（すじがねもん）

の内側一帯と玉造口の南側で

した。文久3(1863)年5月7日、この時初めて大

坂城を訪れた將軍徳川家茂（いえもち）は、筋鉄門内側

の調練場に赴き、銃隊の調練

を上覧しました。同じ月に大

坂で最初の講武所が同所に設

置されますが、この付近は手

狭だったので玉造口南側の空

き地も整備されます。

慶応元(1865)年閏5月、幕府の権威回復を目指す

家茂は、第2次長州戦争を指揮するため大坂城に入りました。

これに合わせて江戸の講

武所の幹部や所属する歩兵隊

も大坂に乗り込みます。彼ら

の拠点となつたのが玉造口南

側の調練場で、これによつて

玉造講武所が成立したと考えられます。場所はKKRホテ

ル大阪周辺から南、中央大通

を越えて大阪市教育会館(パ

ル法円坂)周辺に至る一帯と

推定されます。

以後家茂は翌年にかけ、計

16度も玉造講武所に出向き調

練を視察しています。陣羽織

を着用し、居住していた本丸

御殿から大手門を通り、徒歩

で往復しました。視察の折に

は付近の往来が禁止され、町

の動きに合わせ、大坂

城でも在番する武士のための

鍛錬施設が作られました。場